



フード・ドア・トランク専用
シーリングテープ

作業マニュアル

1 用途

- [1] 交換パーツの補修用として。
- [2] ドア、フードなどのヘミング部(外板折り曲げ部の先端)に使用して美観を得る。
- [3] 仕上がりを目的として。
- [4] 事故車の復元に。

2 特徴

- [1] 仕上がり状態、美観に対する満足度が高い。
- [2] ペースト状でないので直線はもちろんコーナー、段差もラインが崩れない。
- [3] 乾燥時間なしで次工程(塗装作業)へ入れる。
- [4] 新車の形状に近い。
- [5] 作業する方の経験年数に関わらず仕上がりは一定。

3 作業工程

(☆はワンポイントアドバイス)

1. パネル全体を足付け。

☆作業効率を早くする為、スタート位置を決めて下さい。
☆はみ出している防錆シーラントは除去する。

2. エアブロー。(ダスターガン使用)

3. ヘミング部分及び全体を脱脂。

☆被着体表面の付着物(油、水等)は取り除く。

4. シーリングテーププライマーを2回塗布。

☆光沢がでるくらい。

5. 乾燥 (20℃約5分)

☆ベトツキがなくなったらOK

6. シーリングテープ貼り付け。

☆シーリングテープ(離型紙を除去し)をヘミング部に合わせ一定方向に貼り付ける。

☆貼り合わせ温度は、10℃以上、好ましくは20℃以上が良い。
(10℃以下は初期密着が半分以下になる)

(シーリングテープが冷えている時は、暖めて使うことで密着性が向上する。)

☆シーリングテープ温度は、5℃以上になる場所で準備する。
(シーリングテープの付着不良防止、結露防止)

☆先端はしっかり押さえておくこと。(リボンは、端部より剥がれ易い。)

☆シーリングテープの貼り方は、一端を押さえ、順次押さえて貼る。

☆シーリングテープを必要以上に引っ張らない。

☆シーリングテープが問題なく貼り付けてあるか確認する。

7. ローラー圧着

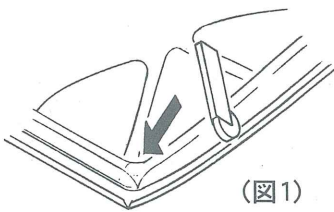
☆ローラーの圧着は、一度目に軽く、二度目に強く押す。
(一度目は気泡押し出し、二度目で本接着)

☆ローラー作業で圧着が不十分な場合は浮きの発生があります。

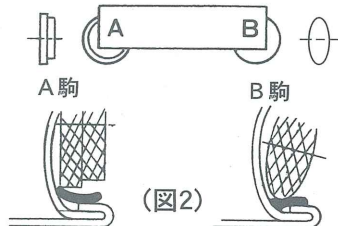
基本作業は、ローラーA駒使用。(図1)

ローラーA駒が使用出来ない場合、B駒使用。(図2)

シーリングテープ専用ローラー詳細図



(図1)



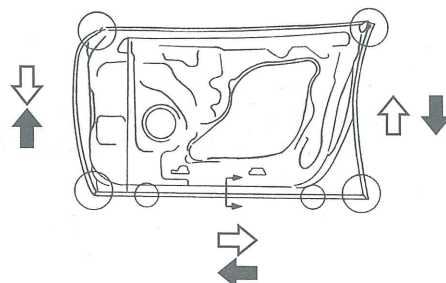
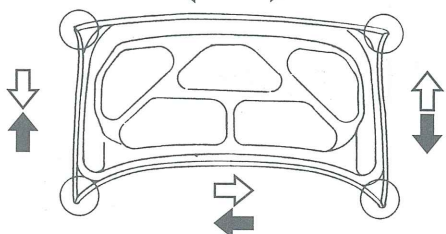
(図2)

工程 No.	作業工程	
1		
2		
3		
4		
5	乾燥 20℃約5分	
6	作業準備	シーリングテーププライマー
6	基本例	
7	作業準備	シーリングテープ、ハサミ
	ローラーは、右から左へ	
7		
	作業準備	シーリングテープローラー

編 纂 アマゾン・ジャパン

(作業基本例)

←...シーリングテープ貼付方向
←...シーリングテープローラー圧着方向
○...カット位置



8.貼り付け確認

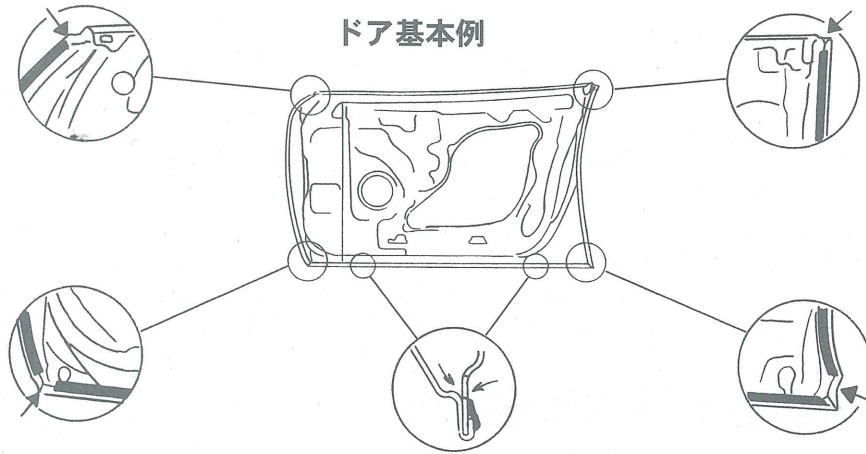
- ☆貼り始めと終わりの確認をする。
- ☆シーリングテープが汚れてしまった場合はウエスにシリコンオフをしみこませ軽く拭く。



9.シーリング処理

- ☆角、継ぎ目、排水口部、スポット溶接の部分及びヘミングの部分から外れた箇所については既存のシーリング剤で埋めてください。(上塗り塗料では隙間を埋める事は出来ない。)
 - ☆はみでたシーリング剤はラッカーシンナー等にて拭き取る。
 - ☆角は、ゴムベラ等を使用する。
 - ☆カット後のシーリング処理は、平滑に仕上げること。(←部)
 - ☆排水口処理は、手が内側より可能な場合は内側よりシーリング処理。
- 注) 排水口の穴は、ふさがらないこと。

8	
9	
作業準備	ペースト状シーリング剤、ゴムベラ



10.全体を確認する。

- ☆シーリングテープの浮き、パネルとシーリングテープの隙間等を確認する。
- ☆隙間等はシーリング剤で処理する。



11.塗 装

- ☆塗料の仕様書に準ずる。



12.乾 燥

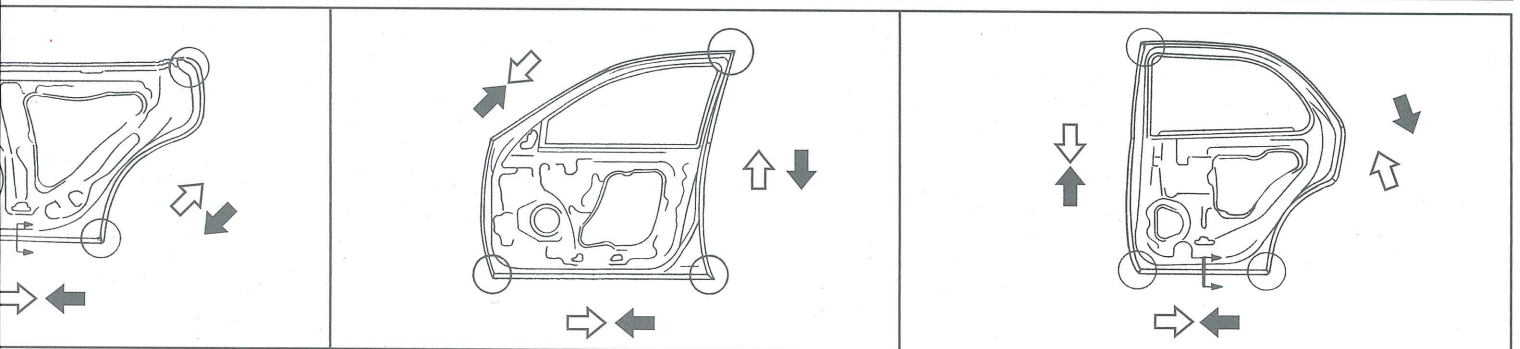
- ☆乾燥時ボディ温度は70℃以上上げないこと。(70℃以上はシーリングテープが凝集破壊する。)
- ☆遠赤、近赤等を使用して乾燥する場合は、貼り付け後15分以上は放置してから乾燥する。



13.シーリングテープの保存について。

- ① 使い残った場合は、直射日光を避け、ポリエチレン袋に入れて室温(基本は23℃、65%)にて保管すること。(粘着剤の劣化防止)
- ② 70℃以上又は湿度85%以上になる様な場所には、放置しない事(粘着剤の劣化防止)
- ③ 車内には放置しないこと。

10	<p>全体を確認する</p>
作業準備	塗料仕様書
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">ブース温度 MAX70℃</p> </div>	
作業準備	遠赤外線塗装乾燥機 近赤外線塗装乾燥機 焼付塗装ブース



4

シーリングテーププライマー作業時の注意

- ① 素材の水分、油分、ホコリ等を充分に取る。
- ② 労安法の注意点を厳守する。
- ③ 雨の日や高湿度時の使用は極力避ける。(ブラッシングの恐れあり)
- ④ ブラッシングを起こした状態では、次の作業を中止する。
(通常は15~30分でブラッシング現象が消えるので時間をとる)
- ⑤ 他の材料、塗料と混合して使用しない。
- ⑥ 塗布後、雨、露などにあたらないように作業する。
- ⑦ 被塗物に水分が含まれている場合には使用を中止するか十分に乾燥させてから作業を進める。
- ⑧ シーリングテーププライマーを塗布してから8時間以内に、塗装が完了するようにする。
- * シーリングテーププライマーのミストの除去は不要である。

5

シーリングテープ作業時の注意

- ① シーリングテーププライマー塗布後、指触乾燥以上(20℃約5分)8時間以内に貼る。
- ② 貼り付け温度は10℃~20℃が適当。10℃以下では初期密着が半減。
- ③ シーリングテープが冷えている場合は暖めると効果的。
- ④ 必要以上に引っ張らないこと。(変形の恐れあり)
- ⑤ ヘミング部に合わせて貼る。
- ⑥ シーリングテープは一定方向へ貼る。
- ⑦ 一端を押さえ、順次押さえて気泡を巻き込まない様貼る。
- ⑧ シーリングテープは端部より剥がれやすいので、先端をしっかり押さえておく。
- ⑨ 圧着は必ずローラーを使用すること。一度目は軽く。2度目で本接着。
- ⑩ ローラーは、方向性がありますので、必ず右から左へ使用する。

6

予想されるトラブルQ&A

- Q 1: シーリングテーププライマーは、'使用'しても'未使用'でもよいのか?
A 1: シーリングテーププライマーは、シーリングテープの初期密着を助けるパートナーです。
必ず使用して下さい。使用することにより密着力が向上します。
- Q 2: シーリングテーププライマーを使用する前に足付け作業はしたほうがよいですか?
A 2: 必ず実施して下さい。
- Q 3: シーリングテーププライマーは、どのくらい塗布したら効果があるのか?
A 3: 2回塗布で光沢がでるくらい塗布してください。
- Q 4: シーリングテーププライマーの乾燥時間は?
A 4: 指触乾燥以上(ベトツキがなくなるまで)目安: 20℃で約5分。
- Q 5: シーリングテープに左右はあるか?
A 5: 有りません。
- Q 6: シーリングテープを貼った後'すき間'ができてしまった。
A 6: 既存のシーリング剤を使用して埋めてください。
はみでた部分に関しては、ラッカーシンナー等で拭き取ってください。
- Q 7: ローラーの必要性は?
A 7: 感圧タイプの粘着剤を使用していますので必ず圧着してください。
圧着をすることで付着力が向上します。
- Q 8: シーリングテープが汚れてしまった。
A 8: シリコンオフ、ラッカーシンナー等でかるく拭いてください。
- Q 9: シーリングテープが途中で足らなくなった。
A 9: 継ぎ足してください。
継ぎ足した部分に関しては、既存のシーリング剤で埋めてください。
- Q10: 遠赤・近赤を使用して強制乾燥を実施しますが、70℃の温度管理ができません。
A10: シーリングテープ貼り付け後15分以上常温で放置してください。
それから強制乾燥を実施してください。


メグロ化学工業株式会社

茨城県古河市下大野1768
TEL 0280-92-1221
FAX 0280-92-4513
E-mail: info@meguro-kk.com